

## 平成16年度 決算報告書

国立大学法人 北見工業大学

(単位 百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	2,779	2,779	0	
施設整備費補助金	19	19	0	
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	10	29	19	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費 交付金	-	-	-	
自己収入	1,208	1,116	92	
授業料及入学金検定料収入	1,185	1,081	104	(注2)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	23	35	12	(注3)
産学連携等研究収入及び寄付金収 入等	224	194	30	(注4)
長期借入金収入	-	-	-	
計	4,240	4,137	103	
支出				
業務費	3,987	3,906	81	
教育研究経費	3,339	3,225	114	(注5)
一般管理費	648	681	33	(注6)
施設整備費	19	19	0	
船舶建造費	-	-	-	
産学連携等研究経費及び寄付金事 業費等	224	208	16	(注7)
長期借入金償還金	10	29	19	(注8)
計	4,240	4,162	78	
収入 - 支出	0	25	25	(注9)

## 予算と決算の差異について

(注1) 年度途中に政府補正予算による交付を受け、予算額に比して決算額が19百万円多額となっている。

(注2) 入学志願者の増加に努めたため検定料収入は増加したが、平成17年度入学者に係る入学手続き時の授業料前納を行わなかったことにより授業料収入が減少となり、予算額に比して決算額が104百万円少額となっている。

(注3) 雑収入については、外部資金の獲得に努めたことによる間接経費等の増加により、予算額に比して決算額が12百万円多額となっている。

- (注4) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等は、受入額の減少により、予算額に比して決算額が30百万円少額となっている。
- (注5) 人件費の節減に努めたこと及び退職手当の残額により、予算額に比して決算額が114百万円少額となっている。
- (注6) 節約等により経費の節減に努め、光熱水料等の経費は減少したが、退職者の増加により退職手当が増額し、予算額に比して決算額が33百万円多額となっている。
- (注7) 注4に示した理由により、予算額に比して決算額が16百万円減額となっている。
- (注8) 注1に示した理由により、予算額に比して決算額が19百万円多額となっている。
- (注9) 収入に比して支出が25百万円多額となっているが、支出において未払金が含まれていること及び寄附金債務残高による手持ち現金を充てたことにより、業務運営について支障は生じていない。

支出の教育研究経費には、損益計算書上の教育経費、研究経費、教育研究支援経費、教員人件費の全部及び職員人件費の一部を含んでいる。また、支出の一般管理費には、損益計算書上の一般管理費、役員人件費の全部及び職員人件費の一部を含んでいる。